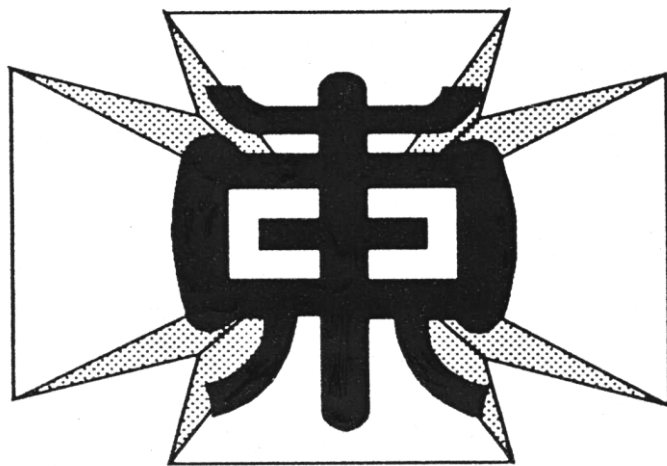


学習の手引き



松山市立東中学校

氏名()

目 次

1	授業を大切にする	1
2	家庭学習を大切にする	2、3
3	テスト勉強を工夫する	4、5
4	自主学習とは	6、7
5	教室用タブレット使用のルール . . .	8

Ⅰ 授業を大切にする

中学校生活で一番大事なことは、授業を大切にすることです。授業がよく分かるようになると、中学校生活がとても楽しくなります。また、授業を大切にすると、生徒は、成績が伸びていきます。さらに、将来の進路を決めるときに、自分の希望する進路を幅広く選べることに繋がっていきます。そこで、東中学校では、『ひがし学習』を全校生徒で推進しています。

「自ら学ぶ」学習の心構え

『ひがし学習』

ひ

ひとりの意見 みんなのものに

自分の意見をみんなの前で発表したり、お互いに意見を出して話し合ったりして、学習を深め合う授業にしていこうためのものです。

みんなに学習内容や成果を分かりやすく伝えるために、発表の工夫（声の大きさ、黒板・機器の利用など）をしていきましょう。

が

学習課題 みんなで確認

この授業で自分が取り組む課題が何であるかを確認することで、目標を持って意欲的に学習するためのものです。

さらに、どんな方法で課題に取り組むかを考え、自分と仲間の力を合わせて課題を解決し、まとめる学習につなげていきましょう。

し

小集団 みんなで高める

一人一人の持ち味が発揮できる小集団で、練り合ったり、高め合ったりすることで、学習の効果を高めていくためのものです。

みんなで意見を出し合い、けじめのある効果的な小集団学習の在り方を考えていきましょう。

3分前行動・2分前着席・1分前黙想

学習のチェックポイント

- ・まっすぐ手を挙げる
- ・しっかり返事をする
- ・語尾まではっきり話す

2 家庭学習を大切にする

(1) なぜ学ぶのか

私たちはなぜ学んでいるのでしょうか。様々な答えがあると思いますが、学ぶことや学び方を知ることは、自分の「より良い生き方」と大きく関連しています。

(2) 2つの「じりつ」

今、学校の教育は、「生きる力」を育てることを目指しています。

そのためには、「自立」（生き方を考えていくこと。）

「自律」（自分自身を律していくこと。）が求められます。

また、学習面でも「自ら学ぶ力」が求められています。これは、一人で学ぶということではなく、

「分からないことは自分で調べる」

「自分のために学ぼうとする意欲を持つ」

「目標に近づくために苦しくてもやり遂げる」ということです。

今一度、学ぶことの意味や学び方について考えてみてください。

ここにまとめられていることを参考にして、充実した家庭学習をしましょう。

(3) 家庭学習が大切なわけ

授業で学ぶことと家庭学習で確認することは、車の両輪のようなものです。学習意欲の向上に最も重要なのは、授業が分かること・学習が楽しいことです。また、基礎・基本を身に付けることも大切です。

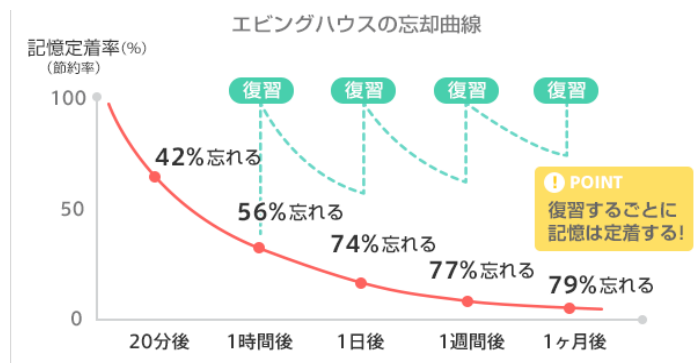
しかし、授業だけで、学習内容を定着させることは難しいことです。確実に理解するためには、繰り返し復習することが必要です。家庭学習によって、基礎・基本をしっかりと身に付けていきましょう。

① 授業の復習・・・その日のうちの復習、習いたての繰り返しが効果的

② 学力の定着・・・「できる」ことから自信へ

③ 脳の活性化・・・読み書き計算の反復練習を継続的に

④ 家庭学習の習慣づけ・・・生活のリズム



(4) 家庭学習の5つのポイント

ポイント1 決まった時間に、決まった場所で学習する

毎日、決まった場所で決まった時刻に学習を始め、決まった時間学習しましょう。それ続けることで習慣となり、スムーズに学習に取り組めるようになります。

ポイント2 目標を持って学習する

「漢字を20字覚える」、「数学のワークを3ページする」など、具体的に目標を持って学習することで集中力や達成感が高まり、次への学習意欲につながります。

ポイント3 最初に宿題をする

宿題は、学習内容の理解や定着につながります。また、提出期限を守りましょう。

ポイント4 集中して学習する

机に向かってすぐに勉強を始めましょう。また、「テレビを見ながら」「音楽を聴きながら」という「ながら勉強」は、集中力がとぎれて学習効果は上がりません。学習場所の整理整頓をしておくことも、集中して学習するために大切なことです。時間を30分単位で区切る、種類の違う教科を組み合わせる、など学習方法を工夫してみましょう。

ポイント5 体全体を使って学習する

教科書の黙読だけでなく、繰り返し書いたり、まとめたり、読んだり、発音したりして、目・耳・口・手などをフルに活用して学習すると、定着率が上がり、効果的です。手を動かし、書く作業で、脳細胞はとてよく働くようになります。

(5) 目標は、1日学年＋1時間!!

1年生の1日の目標学習時間は

「平日2時間、テスト前はもうひとふんばり!」

2年生の目標学習時間は「平日3時間、積極的に自主学習の時間も」

3年生の目標学習時間は「平日4時間、受験前には5時間以上」

ある一定時間までは、家庭学習時間に比例して成績が伸びていきます。学習内容も大切にして、時間の目標を立てて、取り組みましょう。

(6) 教科書等の持ち帰りについて

教科書、ノートなどは基本的には置いて帰ってもかまいません。ただし、次のルールをしっかりと守りましょう。

① 宿題がある場合は、必ず持って帰って、宿題や提出物を確実にすること。

宿題や自主学習は、学習したことを振り返り、理解を深めるのに大切なことです。「教科書を置いて帰ったから、宿題ができなかった」などの言い訳はしないようにしましょう。

② 置いておく教科書等は自分のロッカーで保管し、整理整頓を心掛けること。

③ 教科によって教科書やワーク等の使い方が違う場合があります。「〇〇の授業ではよかったのに…」と勝手な判断をせず、特別な事情がある場合は、担当の先生の指示に従うこと。

3 テスト勉強を工夫する

学習したことがどれだけ身に付いたかを確かめる定期テスト（学力診断テスト・期末テスト）や東テストで満足のいく結果が得られないと悩んでいる人も多いようです。そこで、「効果的なテストの勉強法」を紹介しますので参考にしてください。

- 1 計画を立てる（最低10日くらい前から）
 - ・具体的な目標を設定する
 - ・時間は「つくる」もの
 - ・集中できる環境を整える
- 2 授業で学んだ内容を見直す
- 3 問題・演習に取り組む
- 4 分からないことは、そのままにしない
（先生や友達に聞く）

（1）ポイントを押さえながら授業を受ける

定期テストで出題される内容は、その期間に授業で習ったことが中心になります。

- 教科書を見直す（濃い文字や色文字、図や写真など）
- ノートを見直す（黒板に書いたこと・授業中に解いた問題・重要なこと）
- 授業で学習したことを、もう一度復習しよう

（2）プリントやワーク（補助教材）をチェックする

- 授業中に配られたプリントには、重要事項が分かりやすくまとめられている。
→テスト前には必ず見直そう。
- プリントやワークの問題で間違えているところは、理解できていないところです。
→どこでつまづいたのかチェックして、確実に理解しておこう。

（3）授業中使用した小テストや宿題に出された問題プリントを見直す

- テスト範囲の内容が出されているプリントを見直すことは、テスト対策として効果的。
- スペルミスや単位の書き忘れなど、間違いやすいポイントが分かる。
- 同じミスをしないよう意識すると、得点UPにつながる。

コツを押さええて得点UPに役立てよう！

☆ 継続は力なり ☆

テストが終わり、「良かった」「失敗した」で終わってはそれ以上の向上は期待できません。「失敗した」こそ自分に身に付いていなかった箇所（弱点）を見つけ出すチャンスです。できなかった問題をそのままにせず、何度も繰り返して学び直しましょう。

〈テストの受け方〉

- 休憩中…自席で勉強
- 3分前着席 → あいさつ
→ 2分前黙想
- 机^{きしやう}上^{じやう}は、筆^{ひつ}記^き用^{よう}具^ぐ
(数学^{すうがく}は定^{じやう}規^ぎとコンパス^{ひつよう}が必要^{ひつよう})
- 机^{つくえ}の中^{なか}、横^{よこ}は何^{なに}もなし
- 物^{もの}の貸^かし借^かり×
- 時間^{じかん}いっぱい真^{しん}剣^{けん}な態^{たい}度^ど
 - ・ 最^{さい}初^{しよ}に記^き名^{めい}
 - ・ 正^{ただ}しい姿^し勢^{せい}
 - ・ 最^{さい}後^ごのチャイムまで何^{なん}度^ども見^み直^{なお}し
 - ・ 全^{すべ}ての問^{もん}題^{だい}に答^{こた}える努^ど力^{りよく}
 - ・ 最^{さい}後^ごのあいさつまで無^む言^{ごん}
 - ・ 文^も字^じははっきりと
 - ・ チャイムで筆^{ひつ}記^き用^{よう}具^ぐを置^おく
- 体^{たい}調^{ちよう}不^ふ良^{りよう}、落^おとし物^{もの}は拳^{きよ}手^{しゆ}
正^{せい}々^{せい}堂^{どう}々^{どう}

4 自主学習とは

与えられたことをするのではなく、自分から、自分のために、内容を考え工夫して学習するものです。

自主学習の7つのツボ

- ☆ 自主学習ノートをつくる
- ☆ 宿題以外の学習メニュー（内容・順序・時間）を自分で考える
- ☆ 覚えていないところ、苦手なところを見逃さない
- ☆ 何度も繰り返してやってみる
- ☆ 絵や図、グラフなどを取り入れる
- ☆ いろいろなことに興味をもって、毎日コツコツ続ける
- ☆ eライブラリを活用し、タブレットで学習する

自主学習ノートにチャレンジしよう

1日1ページ以上、宿題以外の学習を、自分で考えて学習する。

- ・漢字の練習、新・数学の基礎練習
- ・英語の単語や本文を書き、覚える。
- ・各教科で学習した内容の復習

教科の先生や学級担任の先生に見ていただき、アドバイスをもらいましょう！

eライブラリの問題に挑戦しよう！

家庭のタブレットやコンピュータを活用する、あるいは学校のタブレットを持ち帰るなどして、問題に挑戦しましょう。

全国の高校入試問題が3年間分収録されています。無料で利用できます。



eライブラリでは、みんなの学習の様子を教員用のパソコンで見ることができます。ゲームのような感覚で問題を解くことができるので楽しく学習に取り組むことができます。ぜひ家庭学習に生かしてください。

eライブラリ
URL(<https://ela.kodomo.ne.jp/students>)

自主学習ノートの例

ヨーロッパ

- ▶ **地形**
 - ◇ ユーラシア大陸の西部に位置する。
 - ◇ アルプス山脈 カリライ=川が流れる。
 - ◇ スカンディナヴィア半島はアイスランド。
- ▶ **気候**
 - ◇ 大西洋側は暖流の北大西洋海流と偏西風の吹きさらす高緯度のわりには温暖。
 - ↳ 西洋沿岸気候
 - ◇ 地中海沿岸は夏に雨が少なく乾燥し冬に雨が多量。
 - ↳ 地中海性気候
 - ◇ 東部や北部は寒冷で夏が短い。
 - ↳ 冷帯(亜寒帯)

ヨーロッパの雨の国

平均気温 1月 8℃	1月 6℃	1月 3℃
(西洋沿岸) 気候 気	(地中海性) 気候 地中	(冷帯) 帯 ル
ロンドン	ローマ (イタリア)	モスクワ (ロシア)

農業

- ◇ **地中海式農業** ... 乾燥ある夏にオリーブ、オリーブのさばりばり。冬に小麦を栽培。
- ◇ **長谷農業** ... 小麦などの穀物の栽培と家畜の飼育のくみあわせ
- ◇ **酪農** ... 乳牛を飼育して乳製品を製造。↳ ノース・バタニア

1. be動詞の形と意味 (現在形)

主語	be動詞の現在形	※ 主語 + be動詞の短縮形
I	am	I am → I'm he is → he's
he, she, it	is	she is → she's it is → it's
you, we, they	are	you are → you're we are → we're
意味	～にいます (人)	they are → they're

2. be動詞の形と意味 (過去形)

主語	現在形	be動詞の過去形	※ 過去を表す語句
I	am	was	yesterday ... きのう
he, she, it	is	were	last 前日
you, we, they	are	were	ago 前に
意味		～にいました (人)	

3. be動詞の不文文と疑問文

④ This is a dog. ⑤ This is not a dog.

notはbe動詞の否定をつける。

※ be動詞 + notの短縮形

is not → isn't
are not → aren't
was not → wasn't
were not → weren't

am notは短縮できません。
I am not
I'm not とする

⑥ Is this a dog? ⑦ Is this a dog?

⑧ Yes, it is.
⑨ No, it is not. (isn't)

※ 時刻や天候、寒暖などを表す文
主語はitを使う。
It is five o'clock.
(It's) 5時です。
It is sunny.
晴れています。

1/25 (6k)

③ 関係を表す式 (場合) ① 関係の式 ② 関係の不等式

① 等式

② 不等式

③ 変形等式

④ 式

⑤ 式

⑥ 式

⑦ 式

⑧ 式

⑨ 式

⑩ 式

⑪ 式

⑫ 式

⑬ 式

⑭ 式

⑮ 式

⑯ 式

⑰ 式

⑱ 式

⑲ 式

⑳ 式

㉑ 式

㉒ 式

㉓ 式

㉔ 式

㉕ 式

㉖ 式

㉗ 式

㉘ 式

㉙ 式

㉚ 式

㉛ 式

㉜ 式

㉝ 式

㉞ 式

㉟ 式

㊱ 式

㊲ 式

㊳ 式

㊴ 式

㊵ 式

㊶ 式

㊷ 式

㊸ 式

㊹ 式

㊺ 式

㊻ 式

㊼ 式

㊽ 式

㊾ 式

㊿ 式

① 関係を表す式 (場合) ① 関係の式 ② 関係の不等式

① 等式

② 不等式

③ 変形等式

④ 式

⑤ 式

⑥ 式

⑦ 式

⑧ 式

⑨ 式

⑩ 式

⑪ 式

⑫ 式

⑬ 式

⑭ 式

⑮ 式

⑯ 式

⑰ 式

⑱ 式

⑲ 式

⑳ 式

㉑ 式

㉒ 式

㉓ 式

㉔ 式

㉕ 式

㉖ 式

㉗ 式

㉘ 式

㉙ 式

㉚ 式

㉛ 式

㉜ 式

㉝ 式

㉞ 式

㉟ 式

㊱ 式

㊲ 式

㊳ 式

㊴ 式

㊵ 式

㊶ 式

㊷ 式

㊸ 式

㊹ 式

㊺ 式

㊻ 式

㊼ 式

㊽ 式

㊾ 式

㊿ 式

12/22(日)

→ ストにできる... 動物の習性

① 野外の動物観察

② 顕微鏡の使い方

③ 水中の生物

(1) 自然の植物

(2) 動物の生態

(3) 動物の行動

(4) 動物の生態

(5) 動物の生態

(6) 動物の生態

(7) 動物の生態

(8) 動物の生態

(9) 動物の生態

(10) 動物の生態

(11) 動物の生態

(12) 動物の生態

(13) 動物の生態

(14) 動物の生態

(15) 動物の生態

(16) 動物の生態

(17) 動物の生態

(18) 動物の生態

(19) 動物の生態

(20) 動物の生態

(21) 動物の生態

(22) 動物の生態

(23) 動物の生態

(24) 動物の生態

(25) 動物の生態

(26) 動物の生態

(27) 動物の生態

(28) 動物の生態

(29) 動物の生態

(30) 動物の生態

(31) 動物の生態

(32) 動物の生態

(33) 動物の生態

(34) 動物の生態

(35) 動物の生態

(36) 動物の生態

(37) 動物の生態

(38) 動物の生態

(39) 動物の生態

(40) 動物の生態

(41) 動物の生態

(42) 動物の生態

(43) 動物の生態

(44) 動物の生態

(45) 動物の生態

(46) 動物の生態

(47) 動物の生態

(48) 動物の生態

(49) 動物の生態

(50) 動物の生態

(51) 動物の生態

(52) 動物の生態

(53) 動物の生態

(54) 動物の生態

(55) 動物の生態

(56) 動物の生態

(57) 動物の生態

(58) 動物の生態

(59) 動物の生態

(60) 動物の生態

(61) 動物の生態

(62) 動物の生態

(63) 動物の生態

(64) 動物の生態

(65) 動物の生態

(66) 動物の生態

(67) 動物の生態

(68) 動物の生態

(69) 動物の生態

(70) 動物の生態

(71) 動物の生態

(72) 動物の生態

(73) 動物の生態

(74) 動物の生態

(75) 動物の生態

(76) 動物の生態

(77) 動物の生態

(78) 動物の生態

(79) 動物の生態

(80) 動物の生態

(81) 動物の生態

(82) 動物の生態

(83) 動物の生態

(84) 動物の生態

(85) 動物の生態

(86) 動物の生態

(87) 動物の生態

(88) 動物の生態

(89) 動物の生態

(90) 動物の生態

(91) 動物の生態

(92) 動物の生態

(93) 動物の生態

(94) 動物の生態

(95) 動物の生態

(96) 動物の生態

(97) 動物の生態

(98) 動物の生態

(99) 動物の生態

(100) 動物の生態

自分なりに工夫したノートを作り上げよう。

5 教室用タブレット使用のルールについて

タブレット端末は学習にとっても有効な道具ですが、間違った使い方をすると、学習の妨げになったり、犯罪につながる行為になったりすることがあります。家庭で使うスマートフォンやタブレット端末にも、情報モラルや使い方のルールがあると思います。自分や学級の友達の安心・安全のために、以下のルールに従って使用してください。

- タブレット棚の開閉は教員が行う。勝手に持ち出さない。
- 授業外の時間は先生の許可が得られない限り使用せず、ケースに入れて丁寧に保管する。
- 休み時間に使用する際は教員に申し出、許可を取ってからタブレットを開く。
- 先生の指示を聞かずにインターネットを使ったり、学習の妨げになる行為をしたりしない。
- デスクトップの背景やアプリを削除したり、変更したりしない。
- カメラ機能は先生の許可があるとき以外は使わない。
- タブレットはアクセス履歴が必ず残ることを理解し、犯罪に繋がる行為（盗撮やインターネット上でのいじめ、不正アクセス、肖像権の侵害など）は絶対にしない。

タブレット端末が遊びの道具になるようであれば、使用する意味がありません。

ルールが守れない場合は、タブレットの利用を制限します。

有効に活用し、学力の向上に生かしましょう。